

令和4年度(第28期) 市民大学前期講座プログラム(案)一覧

※Noを黄色に着色している講座が決定講座です。あと3つの講座を本会議で決定いただきます。

協議資料2-2

No	コース名	講座名	趣旨	主な受講対象者(世代など)	提案者	備考欄
①	現代の社会問題コース	新型コロナ禍における(東南)アジアの政治と社会	新型コロナウイルス感染拡大の防止と、経済活動の維持というトレードオフのなか、各国はいかにして新型コロナウイルス感染症に対処しているのでしょうか。また、新型コロナウイルスの感染拡大は、各国の政治と社会にどのような影響を与えているのでしょうか。本講座では、保健・医療体制が脆弱な(東南)アジアの発展途上国を中心に取り上げ、新型コロナ禍における各国の政治・社会の現状と課題を、対外関係を含む多角的な視点から検証します。	アジア諸国の動向に関心を持つ一般の方々	山田 裕史	
②	現代の社会問題コース	脱炭素社会(カーボンニュートラル)入門	「気候危機」が叫ばれ地球環境問題への意識が高まるなか、日本政府と経団連は昨年後半、「2050年カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること)を目指す」と宣言しました。本講座では、いま注目が高まる脱炭素社会に関する基礎知識を身に付けます。具体的には、脱炭素社会(カーボンニュートラル)とは何か、持続可能な開発目標(SDGs)との関係性、脱炭素社会に向けた世界と日本における取り組み、脱炭素を実践する企業の事例、脱炭素化が各産業に与える影響などについて学びます。	地球環境問題やSDGsに関心を持つ一般の方々 脱炭素化に取り組もうとする企業・団体	山田 裕史	にいがた市民大学らしい付加価値のついた学びを提案できるとさらに良いのではないかと思います。(安易な意見かもしれませんが例えば県内企業の取り組みとその効果を紹介したり、新潟として特に取り組むべき項目はどれか、など)(田中委員より)
③	現代の社会問題コース	小児医療最前線ー子どもの育ちと未来を支えるー	近年新潟県内においても小児医療のあり方が検討されている。子どもたちのケアにおいて重要なことは、単に病気の治癒だけを求めるのではない、ということである。入院・治療という非日常の中におかれざるを得ない子どもたちにとって、その中で過ごす一日は貴重な子どもの心や身体の育ちの一日である。県内では2019年に県内初の「チャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)」という心理的ケアの専門職が配置された。また、小児医療においては当該の子どものみならず、その子どもの家族やきょうだいのケアなども重要な課題である。本講座においては、医療関係者や子育て関係者のみならず、ひとりでも多くの市民が、そこに存在する事象や課題を知ることによって、子どものためのより良いあり方に思いを寄せるきっかけとなることをねらいとしたい。		角張 慶子	少子高齢化をはじめ、様々な社会環境の変化による子どもへの影響は今後ますます複雑化するようになってきています。本講座もその表れの一つではないかと思えます。大人が正しい現状を知り、過保護になるのではなく適切に子どもと接し、ケアできるようになる必要があると思えます。10回の詳しい講座を望みますが、コロナ禍で顕著になった課題などがあれば、取り急ぎ5回の講座で広く受講機会を持つても良いと思えます。(田中委員より)
④	現代の社会問題コース	「孤立」から「支え合い」へ	周囲からの支援を得ないと、不健康につながりやすく、貧困や障害をもつ社会的弱者ほど社会的孤立に陥りやすい。コロナ禍において、あらたな孤立も生じている。社会とのつながりは、人間本来の喜びにつながるだけでなく、社会規範や経済成長、犯罪率などにも影響を及ぼすものである。子どもや若者、シングルマザー、高齢者、外国人、障害者などの社会的孤立の現状を踏まえて、無料塾、子ども食堂、フードバンク、就労支援、居場所づくりなど、さまざまな視点から社会とのつながりのあり方について考える機会としたい。	成人	中村 恵子	ウイルス禍では、より貧しい人、より立場の弱い人に痛みが集中しています。打撃が大きい飲食、宿泊業などはもともと働き手の多くが非正規雇用の女性で、解雇や雇止めにより生活が困窮する世帯が県内でも増えています。ひとり親家庭では添付記事のように、生活苦が子どもたちの心身にも深刻な影響を与えています。県フードバンク連絡協議会などが支援プロジェクトを展開していますが、まだまだ支援が追いつかないといえます。高齢者や障害者らを含め社会的弱者を孤立させずに、どう支えるか考えることは、アフターコロナの共生社会を築くためにも重要と思えます。隣人の悩みや変化にいち早く気づき、手を差し伸べられる市民が増えることでしょう。講義というより問題提起と支援活動の報告を中心に、複数人の対話形式で進めたら、より実践的な学びになるのではないのでしょうか。まさに現代の社会問題として、次年度取り組むべきテーマだと思えます。(阿曾委員より)  ご説明にもあった通りなのですが、受講生が「自分に何ができるか」という「支援者」の視点を持つに至れると、新潟の社会にとって有意義な講座になると思えます。あるいは自分や身近な人が「孤立」状態である、あるいはこのままだと今後なるだろう、という危機感に気づき孤立化を解消、防止することに繋がることも期待出来ます。(田中委員より)
⑤	人間理解コース	コミュニケーション力を伸ばす	人間関係を円滑にするコミュニケーション力は、世代を問わず求められています。それは相手の話をしっかり聞き、言葉の真意や気持ちを理解すること。また、言葉を使って自分の考えや思いを的確に発信する能力です。家庭や職場、地域で適切な気遣い、言葉遣いができているでしょうか。デジタル時代に普及したインターネットやSNSを巡っては、不適切な言葉遣いがトラブルを招きがちなこと指摘されています。アナウンサーやお笑い芸人ら各分野の講師から、コミュニケーション力を伸ばす秘訣を学びます。	特になし。「中高年からの仲間づくり」など世代を意識した設定も可能。	阿曾 晋	「中高年からのコミュニケーション術」と講座名を変更したいと思います。「話の達人」や「聞く名人」、話題性のある講師も入れて、全5回ではいかがでしょうか。(阿曾委員より)
⑥	生命・自然科学コース	健康維持とアスリートのための食事管理	健康維持とアスリートにとっての食事管理の重要性を知り、その具体策の立案、実行について学ぶ。	健康維持とスポーツを食事管理という面から見直してみたい方々、例えば主婦、アスリート、学生、中高年の成人など幅広い年齢層を対象	追手 颯	
⑦	生命・自然科学コース	睡眠の科学ー心安らぐ眠りを求めて	健康を維持・増進するための基本は、栄養・運動・休養の三本柱である。休養の中心は、睡眠であり、良質の睡眠は心身の機能を支える必須な要件である。この睡眠について、皆で考えてみたい。		荒川 正昭	
⑧	生命・自然科学コース	人々の生活におけるトータルヘルスケアについて考える	超高齢社会が急速に進んでいる現状があります。また予期しなかった疫病の出現により、人々の健康や暮らしにも不安を抱える日々になっています。新しい生活スタイルに適用しながら、今こそ改めて人々の健康をトータル的に考えても良いのではないのでしょうか? 1. 薬と健康 2. 運動と健康 3. ビックデータと健康 4. 栄養と健康 5. トイレタリーと健康 などなどを考えていく内容にしてはいかがでしょうか?	主に高齢者になりそうですが、内容によっては、全世代を対象にできるのではと思っています。	飯村 菜穂子	新潟県は「健康立県」を県政主要テーマに掲げ、全国トップクラスの健康寿命を目指す各種事業を進めています。市民大学主要顧客層にとっても健康は最大関心事の一つであり、今回講座案の中では最も響くテーマになるのではないのでしょうか。飯村さんが説明されたように、情報整理法やセルフケアできる力を身につけられれば受講生満足度も高くなると思えます。全10回多様な展開を期待します。なお、生命・自然科学コースで決定済みの「眠り」はむしろ現役世代の受講が見込まれ、すみ分け可能と思えます。(阿曾委員より)  ご説明を聞いて、タイトルに「～コロナ禍を経て変化した生活スタイルと向き合う～」のような副題を入れたらよいのではないかと思います。(田中委員より)

No	コース名	講座名	趣旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者	備考欄
⑨	新潟学 コース	新潟ブランド、成 功事例に学ぶ	地域や企業が独自の価値や魅力を打ち出そうとブランド戦略に力を入れています。地域の自然や文化、産業の集積などを活かして交流人口拡大や魅力アップにつなげられるか、磨き抜いた商品にまつわる思いや物語を伝えられるか、新たなブランドをどう生み出すか。県内の先進事例に学びます。例えば、にいがた酒の陣や燕三条「工場（こうば）の祭典」、長岡大花火大会をはじめとする新潟を代表する大イベント。NIIGATA越品や雪室を活用したオリジナル商品群など新潟らしさのある商品開発。新潟古町芸妓や新潟市民芸術文化会館専属の舞踊団「Noism（ノイズム）」、鼓童など伝統と創造の芸術文化。数々の成功事例に学んでブランド戦略の理解を深めます。「新潟の宝」が生まれた背景を知ること、地域に対する愛着や誇りも生まれます。	ブランド戦略に関心のある会社 員や公務員 新潟学に関心のある市民	阿曾 晋	新潟の誇りを伝えるべく一般市民を対象に、と変更されたかと思いましたが、むしろ当初の対象のまま完全オンライン受講とし、新たな受講者層（現役世代）を取り込む機会としても面白いかもしれません。講師の都合もありますが仕事の後の夜間帯など。コロナ禍の閉塞感の中、このような講座からコロナ後の新潟に新たな起業や人材が登場することを願いつつ。また定員に満たない場合に限り、可能ならば市外者・県外者も可とするなど、広がりある講座にできるかもしれません。（もちろんこれまでの受講対象者が優先ですが）（田中委員より）
⑩	新潟学 コース	古庭園を知る	①日本庭園の歴史を知る（庭園の意味、役割、構成や素材など造園技術の変遷、庭師の位置づけ、文化財保護法について 等） ②新潟に残る名園を知る（見方、見どころ、由来、全国の名園との比較 等） ③ ①②をふまえ、より楽しく鑑賞、または活用するための「庭と〇〇」（茶室、現代の庭園、海外の日本庭園、ガーデンツーリズム 庭園療法（？） 等）	関心のある方 日本文化に興味のある方	田中 茉莉恵	⑫、⑬の「日本の美」に関する講座の中の1～2コマに合体させていただくことが可能です。また、⑪の「お茶を楽しむ」の中で、現地（茶室と庭園）を活用していただくことも、検討可能かと思えます。例えば、作法の動画を撮る際に、現地で撮影するとか、後期ゼミで現地実習する、など。例えばですが、中央区南浜通にある北方文化博物館新潟分館など。（田中委員より）  新潟の名園は不勉強で知りませんが、日本文化の一つとして関心があります。（荒川学長より）
⑪	新潟学 コース	お茶を楽しむ	普段、私たちが何気なく飲んでいるお茶は、健康維持においてさまざまな役割が期待されている。お茶をおいしくいただくことは、五感を使った体験であり、日常生活を豊かにするものでもある。お茶の歴史や効用、不発酵茶（緑茶）、発酵茶（紅茶）、半発酵茶（烏龍茶など）といったお茶の種類とその名産地などについて学ぶとともに、日常生活におけるお茶の楽しみ方を考える場としたい。お茶（緑茶や紅茶など）や茶器の選び方、お茶の保存方法、おいしいお茶の煎れ方など、実践的な学習を通して、お茶をより一層楽しむ生活を提案する。	成人	中村 恵子	新潟には茶道を楽しむ方々も少なくないと聞いています。(11流派?)また、村上是茶の生産の北限ともいわれています。酒と同じように、一度は取り上げてほしいと思います。(特定の流派の宣伝は不可)(荒川学長より)
⑫	新潟学 コース	優しく紐解く日本 の美	私たちの生活環境は、多くの情報、便利な道具、多様な様式に囲まれています。しかしながら、日本人として自国の伝統的な文化に触れる機会や、鑑みる時間は少なくなっている様に見えます。そこで本授業では、工芸や日本画で用いる伝統技法を通して、自国の伝統文化を見つめ直し、国際人として身につけることが必要な自国の文化を伝えられる力を築きます。	対象世代は特にありません。	橋本 学	日本文化の価値を国際的に評価してゆくためには日本人側からの視点と、外(国)からの視点、双方が重要と思える。在留外国人や外国からの留学生を交えた講座にさせていただくと有意義になるのではないのでしょうか(追手委員より)
⑬	新潟学 コース	親子で参加し、楽 しむ日本の美	私たちの生活環境は、多くの情報、便利な道具、多様な様式に囲まれています。しかしながら、日本人として自国の伝統的な文化に触れる機会や、鑑みる時間は少なくなっている様に見えます。忘れてしまった様式や作法、伝統的な技法を、簡単な演習課題を通して、日本の美を、柔らかく学び取ることを目的としています。講義のみではなく、実際に手を動かした実技、ワークショップを絡めながら、親子での世代を超えて繋がる授業環境を考えています。	若い世代の方々の参加をイメージしています。幼稚園児～小学生を持つ保護者	橋本 学	
⑭	新潟学 コース	ミュージアムから 見た新潟 part 2 +α	part 1でご講演いただけなかった講師による。 +αとして新潟のミュージアム以外の関連施設から招くゲスト講師回を設定。(全10回として3回程度?) 例)〇〇(ゲスト)から見た新潟のミュージアム (他県で活躍する新潟出身キュレーター、図書館、公民館、音楽ホール、ギャラリー 等)	◎ミュージアムに関心がある ◎新潟らしさを学びたい ◎新潟のためになんらかの形で活躍したいなどの人は特に	田中 茉莉恵	
⑮	新潟学 コース	佐渡島の金山～世 界に誇る文化遺産 の価値を学ぶ	世界文化遺産登録を目指す「佐渡島(さど)の金山」。この夏に開かれる国の文化審議会で国内推薦されるとの期待が高まっています。順当に推薦されれば2022年夏から秋にかけてユネスコ諮問機関による現地調査が行われ、23年夏の世界遺産登録が実現する可能性があります。登録を前に関心が高まるタイミングを捉えて佐渡の金銀山の価値を学びます。例えば、江戸幕府の鎖国政策により近世の鉱山技術が残ったことや、掘り出した鉱石から独自の技術で高品質の金を取り出し小判まで製造していたことなど、世界に誇れる独自性があります。なお、新潟市は佐渡市と観光連携しており、市民の関心も高いと期待されます。		阿曾 晋	